

番号	科目名	単位数	学年	学科(系列・類型)	必修・選択
123	キャリア設計(1年次)	1	1	工業科	必修

履修条件、選択上の留意事項等
類型選択を考えるうえで参考になる科目

科目の目標
日本の産業の現状を国際的な視点および地域的な視点の双方から理解し、多様な職業への理解を深めるとともに、自己の個性に応じた進路を主体的に設計し、それを実現するための基礎的な能力と実践的な態度を養う。 工業の見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を行うことなどを通して、生徒それぞれの個性や適性に合ったキャリアの構築に必要な基礎的な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。 (1) 産業社会において、工業のもつ社会的な意義や役割と人と技術との関わりを踏まえて理解するとともに、関連する知識を身に付けるようにする。 (2) 産業社会に関する課題を発見し、工業に携わる者として科学的な根拠に基づき工業技術の進展に対応し解決する力を養う。 (3) 産業社会とキャリアに関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組む態度を養う

評価の観点とその趣旨	
① 知識・技能	自己理解に基づき、産業、職業、ライフプランや社会人基礎力に関する知識を身に付けている。
② 思考・判断・表現	産業社会で活躍するための課題を発見し、事実と科学的根拠に基づき課題を解決しようとしている。
③ 主体的に学習に取り組む態度	産業社会とキャリアに関する広い視野をもつことを目指して自ら学び、工業の発展に主体的かつ協働的に取り組もうとしている。
評価の方法	
ワークシートの内容、作成に取り組む姿勢 発表に取り組む態度、内容、表現方法	

学習計画						
月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
4	(1) 自己理解と職業	ア コミュニケーション力と自己理解	自己理解の方法や、自分の意見を正しく伝える方法、他の人の意見を聞き取る方法を身に付ける。	○		
			自己を理解し、他人の意見を聞く力と自分の意見を伝えることへの課題を見いだすとともに、合理的根拠に基づき改善する。		○	
5			これまでの生活や学習を振り返り、自己理解の促進に取り組む。			○
6		イ 機械、電気、建築分野の産業と職業、関連する専門知識と技能	工業の各分野の学習と関連産業との関係について基本的な知識を身に付ける。	○		
7			統計資料等の意味を読み取り、工業の各分野に関連する専門知識や技能への課題を見いだすとともに、合理的根拠に基づき改善する。		○	
8			統計資料を読み解き、工業の各分野の学習と関連産業の関係の学習に主体的に取り組む。			○

月	単元 (項目)	題材 (使用教科書項目)	単元や題材など内容のまとまりごとの学習目標	評価の観点		
				①	②	③
9	(2) ライフプラン I	ア 進路設計 I	生徒の個性に適した職種や、必要な技術・技能・資格を修得するために必要な教育を調べ、知識を身に付ける。	○		
			生徒の自分史や個性を把握したうえで、進路の計画を立案し発表できる。またほかの生徒の発表を参考にして、自己の課題を見だし、合理的な方法で計画を改善する。		○	
10			生徒の自分史や個性を把握し、高校生活を送る上での指針となる計画の立案に取り組む。			○
11		イ 専門分野に関する職業と資格、キャリア形成の手法	生涯学習社会をふまえて、主体的にキャリア形成を計画できる手法や必要な資格についての知識を身に付ける。	○		
			キャリア形成の計画や資格取得について、具体的な目標と学習計画について報告するとともに、その課題を見だし、改善する。		○	
12			生涯学習社会をふまえて、主体的にキャリア形成を計画に取り組む。			○
1	(3) 社会人基礎力	社会人基礎力	社会人基礎力の「前に踏み出す力」、「考え抜く力」、「チームで働く力」について具体的な事例を知り、これらの力をふまえたソーシャルスキルを身に付ける。	○		
2			これまでの学習内容について、グループワークをとおして社会人基礎力の観点から振り返り、成果を発表する際の課題を見だし、改善する。		○	
3			社会人基礎力の具体的な場面を想定したワークショップで、活動に主体的に取り組む。			○